






人工膝関節置換術を受けられる方へ 入院診療計画書

作成日：新規作成日

患者ID: 患者ID 看護師名: 担当看護婦
患者氏名: 氏名 様 主治医名: 氏名

		医療者用 ⑭			
月日(日時)		1月1日	1月2日	1月3日	1月4日～退院
経過(病日等)	入院	手術当日	術後1日	術後2日～14日	術後13日～18日退院・転院
達成目標	入院・手術に対するオリエンテーションが理解でき、手術を受ける準備ができる	不安が軽減し手術ができる。手術後の異常・痛みを訴える事ができる。尿管による合併症を起こさない	手術後の異常や痛みを訴えることができる。尿管による合併症を起こさない	痛みが和らぎ歩行ができる。リハビリに意欲がある。	退院可能な日常生活動作を獲得できる不安なく退院・転院できる
治療・薬剤(点滴・内服)	内服薬の確認をします。お薬・お薬手帳をお持ちください。薬剤師が薬の指導に伺います	お薬は指示されたもののみ内服します。手術前に点滴をします(手術が8時半予定の方は手術室で行います)	食事が十分にとれば点滴終了です。痛み止めの内服が始まります。中止薬がある場合再開の確認をします		
処置	手術部位に印を付けます	医師の許可がでるまで、酸素マスク・心電図モニター・血栓予防の器械をつけます	医師の許可で、酸素マスク・心電図モニターを外します起立が出来たら血栓予防の器械は外します	術後2日目に傷の消毒をし、血抜きを抜きます。術後13～14日で抜糸です	
検査		手術後にX線検査・採血があります	朝、血液検査があります		
活動・安静度 リハビリ	ベッド上安静です。痛みの範囲内でベッドアップします	手術後は翌朝までベッド上安静です	介助で車いすに乗れます。リハビリが始まります	血を抜く管が抜けたら歩行器で付き添いで歩きます。機械で膝を曲げる訓練を始めます。器械で120度膝が曲がるようになれば器械の訓練は終了です。リハビリ状況に合わせて杖歩行訓練も行います。原則抜糸したら退院です。	
食事	21時から飲んだり食べたりできません	飲んだり食べたりできません	お腹の動きを確認してから飲食再開です		
特別な栄養管理の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
清潔	身体をきれいにします。自宅で入浴された方は看護師に伝えてください	手術前に歯磨きを念入りに行ってください	身体を拭きます	傷口を透明のフィルムで覆えばシャワーができます	
排泄	排泄はベッド上です。尿管が入ることがあります		車椅子でトイレにいけます	血を抜く管と一緒に尿の管も抜き歩行器でトイレに行けます	
患者様及びご家族への説明生活指導	入院・手術のオリエンテーションをします 同意書をご持参ください。手術室看護師の訪問があります。麻酔科医の診察があります。※65歳以上の方は介護保険の申請を検討して下さい。スリッパではなく履きやすい靴・靴べらをご持参下さい	点滴前に手術着に着替えます。ご家族は手術30分前にお越しください。手術後は帰室後1時間・2時間後以後4時間ごと検温に伺わせていただきます		☆当院は急性期の病院です。原則抜糸で退院です。退院目標日までに退院できない場合は回復期や療養型の病院に転院のご相談させていただきます。リハビリ状況みて調整をさせていただきますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。☆術後は基本車いすではなく歩行器で移動を行います。	抜糸後より退院・転院可能です。リハビリが必要な場合は転院して行います。退院は9時半頃です。看護師より退院・退院後の生活・次回外来について説明があります。傷口からの出血が止まらない、高熱が出た場合は、外来受診して下さい

注1 病名・入院期間等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

横須賀共済病院 整形外科 2016.6作成

上記のとおり説明を受けました

年 月 日

同意者署名

本人

その他

続柄

()